

令和4年度 第1回登米農業改良普及センター普及活動検討会

日 時：令和4年8月31日（水）
午後1時30分～3時30分
場 所：登米合同庁舎203会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員・職員紹介，検討会の進め方について
- 4 活動紹介
 - (1) 令和4年度普及指導計画について
 - (2) プロジェクト課題 No. 1
「加工用ばれいしょ栽培技術の向上」について
 - (3) プロジェクト課題 No. 2
「農地整備を契機とした地域営農体制の構築」について
- 5 総合検討
 - (1) 普及活動全般・活動事例に関する意見
- 6 閉 会

(年度様式2) プロジェクト課題計画

課題No. 1				
課題名 加工用ばれいしょ栽培技術の向上 (「園芸振興」関連課題)				
計画期間	令和4年度～令和5年度			
対象名及び対象者数	登米ぼてと組合(6人)			
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> 登米地域では、平成29年頃から加工用ばれいしょ栽培が行われ、令和3年度に「登米ぼてと組合」が設立され、作付面積16haで組織的な取組が始まった。 同組合は、他地域との交流や事業を活用した生産拡大を目指して「宮城県ぼてと生産者協議会」へ参画するなど、生産拡大の機運が高まっている。 これまで、生産性向上に向けた活動を積極的に実施しているが、湿害や病害虫、いもの緑化の発生などの課題があり、収量の安定確保には至っていない。 登米地域のは場整備計画地区における高収益作物の候補として、ばれいしょが検討されるなど、周囲からの注目が高まっており、先導的に取り組む登米ぼてと組合の安定生産の実現は、当地域の露地園芸振興において重要な課題となっている。 			
期待される対象の変化	加工用ばれいしょの栽培技術向上により安定的に収量が確保される			
県実施方針上の関連項目	1- (4) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 2- (2) 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援			
地域基本方針上の関連項目	2- (2) 園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援 4- (2) 多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援			
担当チーム員	<table border="1"> <tr> <td>◎本田修三, 鈴木秀彦, 田中正義, 木村智志, 小堀海帆</td> <td>担当班及び 進行管理責任担当者</td> <td>先進技術班 田中正義</td> </tr> </table>	◎本田修三, 鈴木秀彦, 田中正義, 木村智志, 小堀海帆	担当班及び 進行管理責任担当者	先進技術班 田中正義
◎本田修三, 鈴木秀彦, 田中正義, 木村智志, 小堀海帆	担当班及び 進行管理責任担当者	先進技術班 田中正義		
令和4年度				
成果指標	定性的目標 収量安定化に向けた技術対策が検証され、対策が組合員相互で共有される			
	定量的数値目標 10a当たり規格品収量(組合員平均) R3年 2.0t → R4年 2.5t → R5年 3t			
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数63日)			
	活動事項 技術対策実践支援(各対策技術実施支援) (26日) 技術・経営評価支援(調査ほ設置, 経営評価) (22日) 組合活動支援(検討会開催支援) (15日)			
関係機関の主な役割分担項目 JAみやぎ登米(組合運営支援, 集出荷支援), カルビーポテト株式会社(講習会等技術支援, 調査ほ設置, 品質評価), 農業・園芸総合研究所(宮城県版栽培体系の構築), 古川農業試験場(ほ場排水技術支援), 県園芸推進課(事業導入支援)				
関連事業名と役割 水田農業高収益作物導入推進事業のうち園芸作物転換強化事業(品質向上技術実証, 機械導入)				

中間評価表（様式1）

課題 NO.1・加工用ばれいしょ栽培技術の向上・令和4～5年度

担当チーム員 ◎本田修三，鈴木秀彦，田中正義，木村智志，小堀海帆 記述者：本田修三

対象名及び対象数 登米ぼてと組合（6人）

8月中旬評価
(1) 活動指標：普及活動の進捗状況等（月次活動計画の進捗度）
①担当班及び進行管理責任担当者 先進技術班・田中正義
②合計総現地活動日数（66日／内計画日数 32日）
③活動指標ごとの活動日数
・技術対策実践支援（29日／内計画日数 14日）
・技術・経営評価支援（26日／内計画日数 14日）
・組合活動支援（11日／内計画日数 4日）
(2) 成果指標：定性的目標及び所見
<設定した目標>
収量安定化に向けた技術対策が検証され，対策が組合員相互で共有される
<設定した目標に対する所見及び課題>
(技術対策実践支援)
・個別巡回により，排水対策や培土の状況，病害虫の発生状況を確認し，その情報を生産者と共有したことで，各生産者それぞれの判断で，明渠の補修や追加の培土などが実施され，生育前半では，まとまった降雨後も一部ほ場を除き，ほ場内の停滞水は見られず，また，緑化の発生は少なかった。一方，一部で排水の悪いほ場もあり，ほ場選定や排水対策の実施に課題が残った。
・7月15日の想定を超える大雨では，排水路の水位がほ場面より高くなり，全ほ場が冠水した。事前の排水対策によりほ場表面の水は排水されたものの，土壌水分が高い状態が続き，いもの腐敗が進んだ。
(技術・経営評価支援)
・植付や出芽，生育調査を実施し，開花終期には順調ないもの肥大を確認できた。7月以降は大雨の被害により予定していた比重調査や品質調査が実施できなくなったため，被害状況の把握を行った。また，収穫に係る労力や経費についても通常と異なる収穫体系となったため調査を見送った。
(組合活動支援)
・組合員とJA，カルビーポテト，普及センターで5月と6月の計2回，現地検討会を実施した。会では生育を確認し，今後の防除や肥培管理や作業機械についてなど，活発に意見交換が行われた。
(3) 今後の対応・月次活動計画の見直し等
(技術対策実践支援) (技術・経営評価支援)
・大雨被害により出荷データは通常とは言えないものの，生育状況や作業記録等の収集可能な情報を整理し，次作の対策の検討材料とする。
(組合活動支援)

- ・大雨被害により調査を見送ったため、9月に予定していた出荷体制の検討は行わず、登米での実績検討を前倒しで実施し、カルビーポテトや試験場と課題共有を行い、県の検討会への課題提起を行う。

月次活動計画の見直しの必要性 (有 ・ 無)

※見直しの必要性がある場合は、見直した月次活動計画を添付する。

(4) 対象からの意見及び評価

- ・カルビーポテトやJAと共に、引き続き支援をお願いしたい。水田農業の政策の転換や肥料費高騰など、ばれいしょ栽培を継続していけるか不安な要素もある。経営収支の試算や肥料費を節減する技術など支援をお願いしたい。(登米ぼてと組合組合長)

(年度様式2) プロジェクト課題計画

課題No. 2			
課題名：農地整備を契機とした地域営農体制の構築 (「農地中間管理事業」「園芸振興」関連課題)			
計画期間		令和4年度～令和6年度	
対象名及び対象者数		古宿地区担い手経営体 (13人(農業法人設立予定者含む))	
課題の背景		<ul style="list-style-type: none"> ・船越集落と古宿集落にまたがる古宿地区は、令和元年から地域の将来像の話し合いを進め、令和3年10月に特色ある地域農業を推進し、地域住民が誇りとする農村を次世代に継ぐ「地域営農構想」をとりまとめた。 ・その中で93.4haを受益とし、大区画化やスマート農業の展開をするために、令和6年度農業競争力強化農地整備事業の活用を目指している。 ・地域営農構想では、認定農業者等13人が地域農業の担い手経営体として位置づけられ、そのうち数人が法人化を検討していることから、担い手が地域農業の具体化に向けて話し合う場が求められている。 ・農地整備事業を契機として、担い手経営体への集積・集約や園芸作物の導入による水稻依存からの脱却を目指しているものの、作物の選定など課題を残している。 ・法人化を目指す担い手からは、法人設立支援とともに経営計画の検討や園芸作物等の栽培技術の支援が求められている。 	
期待される対象の変化		地域営農構想の具現化に向けた担い手の役割が定まる	
県実施方針上の関連項目		1-(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 1-(5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援	
地域基本方針上の関連項目		1-(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 2-(1)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援	
担当チーム員		◎三上雄史, 佐藤 郁, 佐藤英典, 松原敦子, 高田万里子, 木村智志	担当班及び 進行管理責任担当者 地域農業班 佐藤 郁
令和4年度			
成果指標	定性的目標 古宿地区を担う経営体の経営計画が明確になる		
	定量的数値目標 担い手法人の設立 R3:0 → R4:0 → R5:0 → R6:1法人		
活動指標	定量的数値指標 (合計総現地活動日数51日)		
	活動事項 法人設立支援 (事業計画, 作業計画検討) (16日) 高収益作物の選定 (加工用ばれいしょ試作, 他品目検討) (23日) 担い手会議の開催支援 (12日)		
関係機関の主な役割分担項目 登米市(事業導入支援, 法人化支援), 迫川沿岸土地改良区(ほ場整備事業), JAみやぎ登米(販売活動支援) 東部地方振興事務所農業農村整備部 (計画調整), 登米地域事務所農業農村整備部 (農地整備事業)			
関連事業名と役割 農業競争力強化農地整備事業			

中間評価表（様式1）

課題 NO.2・農地整備を契機とした地域営農体制の構築・令和4～6年度

担当チーム員 ◎三上雄史, 佐藤郁, 佐藤英典, 松原敦子, 高田万里子, 木村智志 記述者: 三上雄史

対象名及び対象数 古宿地区担い手経営体（13人（農業法人設立予定者含む））

8月中間評価
(1) 活動指標：普及活動の進捗状況等（月次活動計画の進捗度）
①担当班及び進行管理責任担当者 地域農業班・佐藤郁
②合計総現地活動日数（41日／内計画日数 21日）
③活動指標ごとの活動日数
・法人設立支援（11日／内計画日数 6日）
・高収益作物の選定（19日／内計画日数 11日）
・担い手会議の開催支援（11日／内計画日数 4日）
(2) 成果指標：定性的目標及び所見
<設定した目標> 古宿地区を担う経営体の経営計画が明確になる
<設定した目標に対する所見及び課題> (法人設立支援) ・農地整備の促進計画の策定に向けて担い手数を絞り込む必要があるが、現状では、集落（古宿、船越、南方）ごとに整理することが必要。古宿、船越は担い手法人を設立し、法人に集積する方向で検討している。 ・古宿集落では、大規模水稻農家を中心に法人設立し、集落内の後継者へ経営継承する形態を検討中。法人化研修への参加誘導、後継者の意思確認を支援したことで、法人化及び経営継承に向けた課題が明確化しつつある。 ・船越集落では、前年度までの支援により、集積の核となる一戸法人（株式会社アグリふなこし）を4月に設立。新規取組とせばれいしょを試作しており、JAやカルビー等と連携して支援した。 ・両集落とも強いリーダーシップがあるが、担い手の絞り込み、農地集積の推進など各集落内での更なる意識共有が必要であるため、各法人の中長期的な営農方針を明確化し、地区内に発信していく必要がある。
(高収益作物の選定) ・船越集落では、加工用ばれいしょの試作（約30a）が行われた。生育期間中は、県の生育調査に準じた調査を実施し、調査結果を指導資料にまとめて技術の定着を図った。 ・7月15～16日の大雨によりほ場が滞水し、収穫前のいもが土中で腐敗する被害が発生した。被害状況を収量調査等により確認し、時期作に向けた検討材料として提供する予定。 ・8月23日に自走式の収穫機で収穫し、今年度の栽培管理は終了。腐敗により大幅な減収となったと見られるが、栽培管理等の作業自体は概ね良い感触だったと思われる。 ・ばれいしょ以外の露地園芸品目について、JAのニラ、ネギの現地検討会への参加を調整したが、ばれいしょの検討会とも時期が重なり参加できなかった。

(担い手による定期的な話し合いの開催)

- ・担い手会議の開催に向けて関係機関と協議・連携し、開催内容等について事務局の土地改良区を支援した。
- ・担い手会議が 8 月に開催され、担い手候補者間で各々の営農計画を共有することができた。また、促進計画の策定に向けて、担い手間の農地利用・集積計画について直接検討することができた。
- ・個々の営農計画の中では、ばれいしょを中心とした輪作や大豆生産、水稻乾田直播の導入など担い手個人の単位では過剰投資の恐れがあるものも見られる。個々の営農計画実現のためには、作業機械の共同利用等担い手間の協力についても検討が必要と思われる。

(3) 今後の対応・月次活動計画の見直し等

(法人設立支援)

- ・各法人の将来構想確立支援及び経営計画策定支援。

(高収益作物の選定)

- ・本年産ばれいしょ栽培の実績検討。次年産に向けた栽培講習等の実施。
- ・枝豆・ネギ等の露地園芸品目の栽培・収穫、出荷調製等の視察研修の実施。

(担い手による定期的な話し合いの開催)

- ・担い手会議開催の継続支援及び個別経営課題に関する助言。

月次活動計画の見直しの必要性 (有 ・ 無)

(4) 対象からの意見及び評価

- ・担い手法人の設立支援やばれいしょの栽培管理支援はありがたい。法人には、集落の後継者から複数参画して欲しいと思っている。高収益作物については、農地整備の工事計画が具体化してくれば、計画的な新規品目の試作が出来るものと考えている。今後とも継続的な支援をお願いしたい。(古宿区画整備協議会 遠藤会長)

普及活動検討委員会・普及活動検討会評価表

委員名

項目と評価の視点	評価値 (1～5)	評価 (評価できる点や改善すべき点)
令和4年度普及指導計画について		
プロジェクト課題No. 1 加工用ばれいしよ栽培技術の向上について		
プロジェクト課題No. 2 農地整備を契機とした地域営農体制の構築について		
その他 御意見、御要望やお気づきの点がありましたら記載して下さい。		

注1：評価の視点

- 普及計画：①計画の設定（ニーズ、目標、活動内容）、②活動展開の方向性（支援方向、手法、関係機関や農業者連携等）、③前年度までの経過や評価の反映
- プロジェクト活動：①計画の設定（対象の選定、ニーズ、目標等）、②活動展開の方向性（支援方向、手法、関係機関や農業者連携等）、③目標達成程度、今後の対応策の整理

注2：評価値は感じたとおりで結構です。1（不十分）～5（十分）で記入してください。

『人と技術が織りなす活きある登米農業』 登米農業改良普及センター 令和4年度普及指導計画

令和4年度 重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

令和4年度プロジェクト課題

- 加工用ばいれいし栽培技術の向上
※対象や期間を明確にして効率的、効果的に支援
- 農地整備を契機とした地域営農体制の構築
- 水稲乾田直播栽培技術の向上と安定生産

- 農地整備を契機とした地域営農体制の構築
- 水稲乾田直播栽培技術の向上と安定生産

- 水稲乾田直播栽培技術の向上と安定生産

- 普及センター活動
・対象が広範囲、不明確、熟度が不十分な対象を支援
・農業者や地域のニーズに応じて、技術支援、農業経営、農村生活、新規就業等の情報提供、相談活動
・プロジェクト課題への助走、終了課題対象のプロローグ等
・重要かつ緊急的な課題については重点活動として作成
- 調査研究
・各普及指導員が地域の特性に応じて農業に関する高度な技術や知識を積み立てて実践し、成果を普及活動に活用

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上
- 農産物の輸出・販路拡大の推進
- 農産物の加工・流通の推進
- 農産物のブランド化による付加価値の向上

普及センター活動

- 重点活動
 - 地域ぐるみで取り組む新規就農者の確保・育成
 - 登米地域圏益重点品目の生産振興
 - 地域の営農計画の達成や格となる担い手の育成支援
- 一般活動
 - 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
 - 先進的農業に取り組む経営体の育成支援
 - 地域農業を担う集落営農組織の育成支援
 - 生産性の高い土地利用型農業の推進
 - 青年農業者の確保育成
 - アグリビジネス経営体等の育成支援
 - 雇用就業者のキャリアアップ推進
 - 女性農業者の質向上支援
 - 生活研究グループ等の女性グループ活動支援
 - 農業士活動支援
 - 農業情報発信
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
 - 安全・安心な農産物の生産支援
 - 地域水田フル活用ビジョンへの支援
 - 基本技術の徹底による高品質米・良食味米の安定生産支援
 - 新規需要米等の安定生産支援
 - 米・大豆の安定生産支援
 - 優良種子の安定生産支援 (水稲、麦、大豆)
 - 野菜の安定生産支援
 - 果樹の安定生産支援
 - 畜産の安定生産支援
 - 畜産の生産技術支援
 - 畜産の生産工程管理 (GAP) の取組支援
 - 先端技術を活用した農業経営の効率化の推進
 - アグリテックの導入による安定生産支援
- 魅力ある特産品の農業・農村づくり
 - 環境にやさしい農産物等の生産支援
 - 中山間地域の振興
 - 地域資源を活かした地域活性化支援
 - 生産者と消費者の相互理解促進活動への支援
 - 農作物への鳥獣被害防止支援

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進

令和4年度重点活動項目

- 登米農業を牽引する活力ある経営体の育成
- 豊かな経営資源を活かした農業生産の拡大と産地の育成
- 先端技術を活用し、農業生産の効率化の推進
- 魅力ある特産品の生産と農産物の加工・流通の推進